

令和２年度沼津市総合計画審議会起草委員会 会議の概要

日時：令和２年１１月９日（月） １０：００～１１：４５

場所：沼津市水道部庁舎 ３階会議室

資料：次第、資料１、２－１、２－２、３－１、
３－２、４－１、４－２、５

１ 開会

２ 第５次沼津市総合計画 基本計画（案）について

３ 各まちづくりの柱における重点取組・主要指標等の（案）について

事務局より、資料１、２－１、２－２、３－１、３－２を一括して説明。

○第５次沼津市総合計画基本計画（修正案）（資料１、２－１、２－２）について

委員） 資料２－１Ｐ８３「３避難所運営の充実」の女性や高齢者などへの配慮と修正しているが、地域の中においても女性や高齢者のほか、外国人や障害者など配慮が必要な人がいるので、「多様性」という文言を加え、女性や高齢者など多様性への配慮としたらどうか。

事務局） 指摘の通り、修正する。

委員） 資料２－１Ｐ８３ 主な取組の概要「１ 地域住民の災害対応力の強化」のなかで、防災指導員の研修を実施するとあるが、少し文言が弱いと思う。防災指導員から各自主防災会へ伝わるようにしてほしい。

事務局） 検討する。

委員） 資料２－２Ｐ４の１行目に「核家族化」と記載があるが、核家族については減り続けており、一人親の家族や単身世帯が増えているので、「家族の多様化」に変更した方が良い。

事務局） 指摘のとおり修正する。

委員） 資料２－２Ｐ６に人口推計等の記載があるが、最新で正しいものか確認をしておいてほしい。

事務局） 確認する。

○８つのまちづくりの柱における重点取組（案）（資料３－１）について

委員） 資料３－１について、どういう意図で書くのか確認したい。また、具体の事業名があったりなど、内容のバランスが悪く感じる。

委員） 他市などの指標を見てみると、戦略的なプロジェクトを特出ししたものが多いがそもそも、重点取組として記載する理由はなにかあるのか。

事務局） 基本計画の具体的な事業を体系的にまとめたものとして推進計画があるが、その中でも各分野における１０年間で力を入れていく取組を分かりやすく伝えるために、柱

ごとに重点取組を記載する考えである。基本計画の記載は、総花的だが、どの取組に力を入れるのか、目玉にするのかを示すために記載したいと考えている。

委員) 例えば、柱8の2つ目など、2つの事業を1つにまとめてしまうと分かりにくいいため、分けて記載した方が良いと思う。

委員) 記載内容を見てみると、力点を置く姿勢を書いているので、「取組推進のポイント」などにタイトルを変えても良いと思う。

委員) 「重点取組」では具体の事業がイメージされるので、表現としては、「重点項目」ではどうか。表題について検討してほしい。

事務局) 検討する。

委員) 資料3-1 柱1の2つ目の中に、男性の家庭や育児への参画とあるが、「家庭」を具体的な「家事」に修正してほしい。また、配偶者の出産時に休暇取得を義務付ける動きがあるので、可能であるならば、事業所へのアンケート調査をしたうえで、男性の育児休業の取得率を指標に加えられれば良いと思う。

事務局) 検討する。

委員) 資料3-1 柱6において、スポーツ、健康・長寿について記載があるが、コロナ禍において、非正規労働者やひとり親家庭などの困窮は増しているので、格差・貧困の解消について記載できないか。それに伴い、例えば、生活保護受給やひとり親家庭等で生活支援を受けている数などの指標を取り入れた方がよいのではないかと。

事務局) 検討する。

○まちづくりの主要指標・8つのまちづくりの柱にかかる重点取組関連指標（案）

（資料3-2）について

委員) 資料3-2 (1)主要指標の③観光交流客数については、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントも収容人数を減らしており、本当に定量で計ってよいのか検討が必要である。指標として使うのであれば、説明書きが必要である。

委員) 資料3-2 関連指標（案）について、柱2の指標が抽象的である。例えば、中心市街地の地価、固定資産税収入、まちなか居住の人口など成功の度合いを計れるものが望ましいと思う。⑥の公園関係は、地域の様々な組織と連携して管理や利活用できている公園の数が考えられる。柱7は、難しいかもしれないが、避難所運営マニュアル策定数、高齢者の交通事故件数が考えられる。

事務局) 検討する。

委員) 定性的なものは、市民アンケートで数値を取るようだが、どのように行っているか分からないため、示しながら取り組むべきである。

事務局) 第4次総合計画においても、無作為で2,000人を抽出し、市民アンケートを実施している。趣旨など市民に示しながら行っていく。

委員) 柱8⑥について、具体的なゴミ関係の指標にしたらどうか。ゴミの処理方法が多様化しており、市ではリサイクルなどについては把握できていない現状を踏まえ、リサイクル率ではなく、ゴミの焼却量、最終処分量を指標としたらどうか。リサイクル量が増

えれば、焼却量などが減るというような関係性も見ることができる。

事務局） 検討する。

委員） 柱4⑪「認知度向上に向けたロケーション誘致件数」について、目立って誘致件数が多くなるわけではないと思うので、ロケーションを誘致して訪れた人数などを指標とできないか。

事務局） 検討する。

委員） 主要指標では、⑤に事業所数の指標があるが、国の施策を見ると、個人事業主よりも多くの人を雇用する事業主を増やす方向に力をいれるようである。また、⑧「刑法犯認知度件数」について、他市と比較して本市に必要なかどうか検討してほしい。

委員） 国の施策が、起業支援にシフトしているようなので、起業についての指標を考えても良いと思う。

4 第5次沼津市総合計画基本計画 答申（案）について

事務局より、資料4-1、4-2について説明。

委員） この答申文はどこかに載るのか。

事務局） 総合計画の資料編に審議会から提出されたものとして掲載する予定である。

委員） 柱1の1つ目の文章において、「家事」についても男性の参画を推進するものなので、「含む」は削除した方が良い。また、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革というキーワードも入れた方が良いと思う。

事務局） 指摘のとおり、修正する。

4 その他

事務局より、本日審議された内容を反映した答申案を、審議会委員に照会し、会長のもとで精査したうえで、答申文とし、市長に答申する旨説明。

5 閉会